

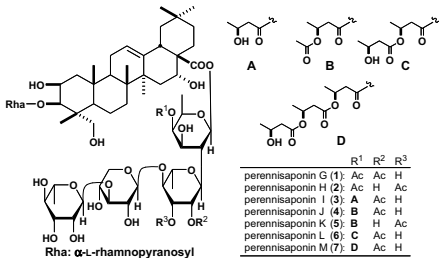
# 26Z-am02

デイジーフラワー (*Bellis perennis* 花部) の機能性成分の探索 (2) —新規サポニン perennisaponin G—M およびリパーゼ阻害活性—

森川 敏生<sup>1</sup>, 二宮 清文<sup>1</sup>, 李 雪征<sup>2</sup>, ○西田 枝里子<sup>1</sup>, 松田 久司<sup>2</sup>, 山下 千裕<sup>2</sup>, 中村 誠宏<sup>2</sup>, 村岡 修<sup>1</sup>, 吉川 雅之<sup>2</sup> (<sup>1</sup>近畿大・薬総研, <sup>2</sup>京都薬大)

【目的】キク科 (Asteraceae) 植物デイジー (*Bellis perennis* L.) は, 和名を雛菊, 延命菊, または長命菊とも称される植物である. 本植物の若葉や花部はサラダに加えて食用に供するとともに根部は主にリウマチの改善や去痰薬として利用されている. 我々は, 種々の薬用食品素材からの新規機能性成分の開拓を実施しており, その一環としてデイジーフラワーから食後高脂血症の制御に有効な成分として, オリーブ油負荷マウスにおいて血中中性脂質上昇抑制活性成分 perennisoside I および II などを明らかにしている.<sup>1)</sup> 今回, デイジーフラワーに含まれる腓リパーゼ阻害活性成分を精査した.

【方法・結果】MeOH 抽出エキスについて, 各種クロマトグラフィーにより分離・生成した結果, 新規トリテルペンサポニン成分として新たに perennisaponin G—M (1—7) を単離・構造決定するとともに **1** および **2** などにリパーゼ阻害活性を見い出した.



<sup>1)</sup> *J. Nat. Prod.*, **71**, 828–835 (2008).